

目指せ！1等米比率90%以上！～JA富山市米品質向上生産運動展開中～

<コシヒカリの生育状況>

- ・6月の気温は平年並みに推移(6/11現在)
- ・生育は平年に比べ、草丈:短い、茎数:かなり少ない、葉齢の展開:1.0葉遅い、葉色:並みとなっています。
- ・中干しを開始していないほ場では、**直ちに実施**しましょう！
ただし、茎数が平年に比べ少ないことから、**一度に強く干し上げず、「田面に小さな亀裂が入る程度」の中干しを数回繰り返し**、地耐力を高めましょう。

JA 富山市管内水稻生育調査結果(6月11日)(管内基礎ほ7ほ場平均)

	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (葉)	葉色
R6	30.5	9.8	213.5	7.3	4.2
R5	33.6	18.5	367.9	7.8	4.4
平年	35.0	18.1	357.9	8.3	4.3

1. 中干し後の水管理

【中干し後～幼穂形成期】

- ・「**間断かん水**」を行い、幼穂形成期頃までに足跡の深さが3cm程にしか沈まない様に仕上げましょう。
- ・生育量が多い場合は、過剰籾数や倒伏を防ぐために、やや強めの田干し(落水期間を長くする)をしましょう。

【幼穂形成期以降】

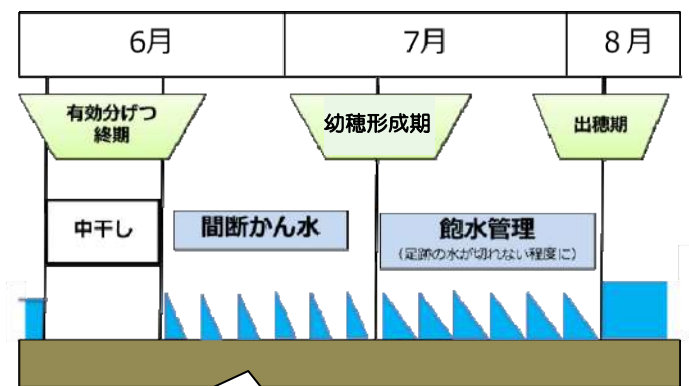
- ・**飽水管理**(田面に常に水がある状態)で、稲の活力維持に努めましょう。

中干しの終了は、ほ場中央部でくるぶしが軽く沈む程度を目安とする



<中干し終了時の目安>

<水管理のイメージ(コシヒカリ)>



中干し後、田面が乾きすぎると、葉色が急激に低下することがあります。中干し後の間断かん水は、**乾かしすぎないように注意**しましょう。

2. 「てんたかく」の穂肥

【基肥一発肥料栽培の場合】⇒**原則として穂肥は必要ありません！**

- ・過剰に穂肥を追加すると、稈長が伸長し、倒伏を助長します。

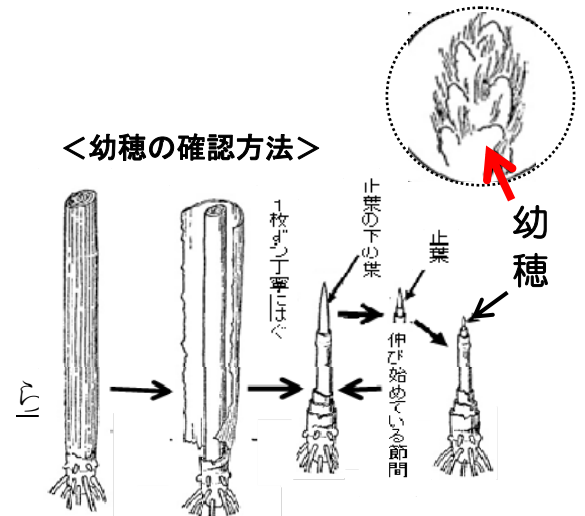
【分施栽培の場合】

- ・幼穂長1～2mmを確認した1回目穂肥を施用しましょう。

<穂肥施用の目安 (5月連休田植えの場合)>

	1回目 (6/27日頃)	2回目 (1回目の10日後)
追肥3号	10～12 kg/10a	12～13 kg/10a
LP 追肥 38号	18～20 kg/10a	-

<幼穂の確認方法>



3. 草刈りの徹底

注意 早生の格下げの**主要因は、カメムシによる斑点米です！**

- ・カメムシは、畦畔等の雑草の穂を好みます。畦畔等は、**雑草の穂が出ないように草刈りを徹底**し、カメムシ類が発生・増殖しにくい環境づくりに取り組みましょう。
- ・アスジカスミカメは、水田内のノビエやホタルイの穂を好み、産卵、増殖するので、**水田内に雑草が見られる場合は除草に努めましょう。**
- ・出穂直前や出穂後の草刈りは、カメムシ類を水田内に追い込むので、**草刈り運動期間中に草刈りを実施し、地域全体でカメムシ類の密度を減らしましょう。**

<主な斑点米カメムシ類>



イネ科雑草の穂が出ている畦畔は、カメムシの生息地となるため、草刈りを行いましょう！



斑点米

玄米 1000粒に2粒混入すると2等米に格下げ!!



水田畦畔等草刈り運動期間 6月28日～7月7日 [一斉草刈日: 6月29日(土)、30日(日)]

○農作業の際は、こまめな水分・塩分補給や適切な休憩など、熱中症対策を徹底しましょう！

★富山市農協ホームページで営農情報の提供を行っています★<http://www.ja-toyamashi.or.jp/jouhou/> で検索！